

あすなろ通信 32号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局：〒728-0006三次市島敷町3 6 番地 7
(Tel 0824-55-6301 Fax 55-6302) 発行日2017年5月12日

今月のことば

何かを始めることは
怖い事ではない、怖い
のは何もはじめない
ことだ。

二〇一七年、新たな体制でスタートしました

みよし子育て・学び支援あすなろ 理事長 松本 信司

NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろの総会が、五月一日(月)「あすなろ塾」で開かれました。昨年九月、退任された黒田理事長をはじめ、三名の役員の方が退任されました。退任された役員の皆様には無理をお願いし「あすなろ塾」のために活躍いただきました。ありがとうございます。

二〇一七年度の正会員の皆様

- ◇松本 信司 理事長
 - ◇影山 克典 副理事長・塾頭
 - ◇三橋 豊 理事・会計
 - ◇瀬川 政博 理事
 - ◇守本 秀樹 理事
 - ◇深田 俊克 監事 監査
 - ◇四車 ユキコ 元気教室指導者
 - ◇井田 浩二 理科講師
 - ◇水岡 環 社会科講師
 - ◇田中 哲哉
- 以上、十名の役員で運営していきますので、変わらぬご支援の程、よろしくお願いいたします。

みよし子育て・学び支援あすなろ」が設立され今年で七年目を迎えます。これまで学力支援・子どもたちの居場所づくり(元気教室)、環境整備(馬洗川クリーン作戦)活動等々、色々な取組を行ってきましたが、これらの取組は市民の皆様のご寄付や助成金頼みの資金運営であり、特に助成金については毎年助成金申請をするのが困難となりました。そこで昨年より本来の設立理念に立ち返り色々な活動の中で特に学力支援を中心に力を入れて活動を継続す

ることとなりました。

昨年度は、子どもたちはどんな家庭や地域に育っても、教育の機会は均等でなければならぬ」という観点から、低所得家庭および福祉的課題をもつ家庭の生徒を中心に受入れることとなりました。募集の結果一人親家庭の生徒五名、二人親家庭の生徒四名でスタートしました。二〇一六年度の卒業生四名は全員公立高校入学を果たしました。

今年も塾生募集をしたところ、十一名の生徒が入塾してきました。十一名の生徒の内八名が一人親家庭の生徒です。開塾の理念に沿った募集内容で身の引き締まる思いです。影山塾頭をはじめ集まった講師の皆さんもそれぞれ専門の教科で力を発揮していただいています。

貧困の連鎖は世代を超えて益々厳しく、なかなか将来について展望を持つことが困難な時代です。私たちの取組はその貧困の連鎖を断ち切る一助になると確信しています。

低額の授業料で学力保障をしていくことは経営的には困難な状況もありますが、多くの企業や市民の皆様のご支援

で成り立っている塾であることを塾生にもしっかりと伝え、感謝の心を大切に指導していきたいと思っています。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。



NPO法人あすなろ・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動はできないが、寄付金等でご協力いただける企業や個人。

個人年会費：1口(5,000円)以上

企業等年会費：1口：(10,000円)以上

特典：あすなろ通信送付(年3回発行)

問合せ：あすなろ通信の発行住所と同じTEL・FAXとも。

あすなる塾の理念に共感

あすなる塾 理科講師 井田 浩二



こんなこといいな
できたらいいな
あんなゆめ こんなゆめ
いっぱいあるけど
みんなみんなみんな
かなえてくれる

ふしぎなぽっけで かなえてくれる
そらをじゆうに とびたいな

「ハイ！タケコブター」

アンアンアン とってもだいすきドラエモン

皆さんご存知のとおりドラエモンはポケットから道具を取り出しみんなの夢をかなえてくれます。私たちにはドラエモンのようなポケットはありませんが、人類は自然を観察・研究することにより「自然科学」というポケットを手に入れました。そしていろいろな道具を作り出し生活を便利で豊かなものにしてきました。

半面、その発明を戦争に利用し多くの人の命が失われました。また「公害」にみられるように自然を破壊し生物の生存を危ういものにしてしまいました。少しでも自然科学に携わったものとしてこのことを忘れないようにしてきました。

皆さんも少しでも気に留めていただいたらいいと思います。

三年前に広島県の公立高校を定年退職しました。もう二度と「教える」という場には立たないと決めていましたから、いろいろなところからのお誘いを断ってきました。が、昨年の夏に影山さんに声をかけていただきました。あすなる塾の目指すものに共感し、熟慮の末お手伝いができることがあればと決断し、昨年の一〇月から中学生と勉強してきました。高校に勤務していたころ受験指導もしてきました。その経験を生かして皆さんのお役にたてればと思っています。よろしくお願いします。



よろしくお願いします

あすなる塾 社会講師 水岡 環



みなさん、はじめまして。4月からあすなる塾で社会科を担当する水岡です。口和に住んでおります。今春、中学校教師を定年で辞

めました。四月からは家業の農業と家事労働と趣味に生きるつもりでしたが、影山塾頭から「社会を教えてくれ」という再三の依頼がありまして、週一回なら」ということで了解した次第です。学校に勤めていたとき思っていたことがありません。学力テストのことです。広島県は基礎基本定着状況調査、国は学力調査、市は学力テストを実施し

ています。結果は、個人に返されることになっていて、児童・生徒のみなさんには一定の返しがなされます。それはそれでよいのですが、市や県は「平均点」を大変気にします。小・中学校の先生方も「平均点」をととても気にしていらいっしやいます。点を上げるために事前の取り組みをするよう指導する市や校長先生もいると聞きました。おかしい」と思うのです。平均点で学力を語るということは、ひとりひとりの姿がうすくなるということです。教育という営みはひとりひとりの姿をイメージして行うものだと思う私には違和感がありました。

ところで、日本国憲法の三つの柱とこのことを知っていますか？それは、国民主権(主権在民)、基本的人権の尊重、平和主義(戦争放棄)の三つです。この三つの柱の中の「基本的人権の尊重」の基幹をなす部分が、第三条の「個人の尊重と公共の福祉」で、すべて国民は、個人として尊重される」と規定されています。全体が先ではなくて、個人が先なのです。個人が見えない社会や、常に集団を優先する考え方や体制を全体主義とかファシズムとかいうわけです。テストの平均点主義をファシズムと結びつけて考えて、今の世の中はあぶないよな」と思ってしまう私を、世の中の多くの人は「偏っている」と感じるだろうなと思うような私です。

幸いあすなる塾では個人が最優先されているようなので、安心していきます。

最後に「勉強ができるようになる方法」を知っていますか？それは「勉強をすることです」ワッハッハッハ。

二〇一六年度の成績から見える課題 あすなる塾 塾頭 影山 克典

二〇一六年度はこれまでの塾の体制を刷新し、本来のあすなる塾の趣旨に沿った新たなスタートとなりました。三〇数名いた塾生が一〇名（途中一名退塾）になり、学力的には上位の生徒がほとんどいなくなつてのスタートでした。

あすなる塾は「経済的格差を教育格差にしない」をモットーにやっていますので、塾の使命は「学力の保障」「地域やまわりへの感謝の気持ちを育てる」そして「公立高校入試の突破」ということとなります。したがって「学力の保障」は中心的課題となります。

ここがどの程度できたか、できつつあるかが二〇一六年度のあすなる塾の評価だと考えます。塾生が集う場の保障、人間性の高まりなども重要な課題ですが、やはりそれを評価の中心に置くべきではありません。「学力保障」プラスそれらのことがなければ塾としての存在意義が薄れてしまうと考えます。もちろん「学力保障」だけを考えるのではあすなる塾ではないことは論を俟ちません。

このような観点で二〇一六年度の塾生の成績を見てみたいと思います。



まずは次の二つの表を見てください。

☆ 学校の成績

学年	教科	1 学期	2 学期	3 学期	傾向、増減点
1 年生	数学	59.3	46.3	50	↓ ↑ = ↓ -9.3
	英語	73.3	53.3	47.5	↓ ↓ = ↓ -25.8
2 年生	数学	70.7	78.8	72.7	↑ ↓ = ↑ +2.0
	英語	66	73.3	61	↑ ↓ = ↓ -5.0
3 年生	数学	68.5	67.9	64.8	↓ ↓ = ↓ -3.7
	英語	68.1	68.3	62.5	↑ ↓ = ↓ -5.6

模試の成績

	第1回	第2回	第3回	傾向、増減点
1 年生	40	43	41	↑ ↓ = ↑ +1
2 年生	46	46	49.3	→ ↑ = ↑ +3.3
3 年生	41	47.3	42.8	↑ ↓ = ↑ +1.8

☆ 成績の傾向

* 一年生の学校の成績は大幅に下降。しかし模試の成績は上昇。

* 二年生の学校の成績は数学は上昇、英語は下降。模試は上昇。

* 三年生の学校の成績は下降。模試は上昇。

* 全学年とも模試は上昇。

☆ 原因と課題

* 成績の下降はきちんと分かっていくとする姿勢の不十分さ。

* 成績の上昇はきちんと分かっていくとする姿勢の継続力の向上。塾でのいい勉強。

* 保護者の協力がやや不十分。

* 実力は少しずつは着いてきたが、定期試験前のいい学習が不十分。

* 一〜三年生に共通する課題は家庭での学習量。

二〇一七年度は以上の反省を踏まえ、より成果があがるように頑張ります。生徒、保護者の皆さんも共に頑張りましょう。



二〇一七年度がスタートした。私が あすなる塾」の講師になって二年目のスタートである。四〇年間高校の教員として勤務し、再任用の期間を三年残しての転職だった。

他のことがまともにできない私としては、心と身体が続く限り、何らかの形で「教育」に携わりたいと考えていた。

この「教育」というものの、いったい何なのか。世の中や人類にとって何の役に立つものなのか。自分としては何をどのようにしていくことが、少しは「教育」の役に立つことなのか、いつまでもたっても答えは出ない。

比較人類学者のポルトマンによると、この地球上の生物の世代交代システムで 遺伝子＋学習＋教育」の三つの要素を持つパターン、とりわけ「教育」をシステムの中に組み込むことのできた生物は人類だけだという。

この説が正しいかどうかの判断は私にはできないが、人類にとって「教育」が非常に重要なものであることは納得できる。人類はこの世代交代システム、とりわけ「教育」によって文化」という身体外遺伝系を創り、継承し、そして社会を更新し、進歩（？）を獲得してきたといえる。

このように考えるならば、「教育」の機能として、人類が長い年月をかけて創りあげてきた文化を次代の人々に伝承し、それをもとにその時々の人々がより良い社会の創造を担っていくようにするというものがあると言える。だからこそ、家庭での「教育」、地域での「教育」、仲間どうしの「教育(学び合いを含む)」、学校などの教育機関での「教育」、それらすべてが

全体として人類にとって大切な「教育」だと考える。

以上のように「教育」を考えるならば、あすなる塾のすすめる「教育」など全体の中ではなくても小さなものにすぎないと思う。また、三〇〇万年(猿人の誕生から)と言われる人類の長い歴史から見れば、あすなる塾の六年間の歩みはまさに一瞬とも言える。しかし歴史は一瞬一瞬がつながったものであり、全体はとても小さなものが集まって構成される。今がなければ未来はない。一つがなければ全体もない。

あすなる塾に集う生徒たちが、ここに来て良かったと感じ、将来この生徒たちがより良い社会の建設者の一人になることを願い、今年も頑張っていきたい。みなさんのご支援・ご協力をお願いする。

影山

「支援をいただいている企業・団体」

- ◇ ミヨシ電子株式会社 三次市東酒屋町
- ◇ (株)三次衛生工業社 三次市四拾貫町

「寄付いただいた皆様」

- ・竹折 豊子 三次市三良坂町
- ・山田 公主 三次市畠敷町
- ・瀬戸 三歳 三次市三良坂町

2017年度

塾 生 募 集

あすなる中学部

- 少人数&個別指導で学べます。
- コースは2種類。
 - ◇ 英数コース (週2回) 月14,000円
 - ◇ 理社コース (週1回) 月6,000円
- 授業料減免措置があります。
 - ◇ ひとり親家庭は半額免除
 - ◇ 生活保護家庭は全額免除

入塾受付

期間 随時(ただし、火・水・金曜日)

時間 16:30~18:00

場所 あすなる塾

○ 電話でも受け付けます

○ 0824-55-6301

